

事業評価と 議会改革

平成 24 年度の富士市議会による事業評価は、11 の事業を対象に、9 月定例会の決算委員会において、行われました。

昨年、議会として初めて行った事業評価ですが、評価対象事業の選択は、4 つの常任委員会で行い、決算委員会で評価するとしました。

また、議員個々に評価シートを提出していたものを今回は、会派ごとに取りまとめたうえで、会派としての評価シートを提出する形に改められています。

また評価段階も前年の「拡充する・現場のまま継続・見直し」の 3 段階から、今回は次のような 4 段階に改められています。

評価 1 : 拡充する

評価 2 : 継続する

評価 3 : 改善・効率化し継続

評価 4 : 廃止も視野に検討する

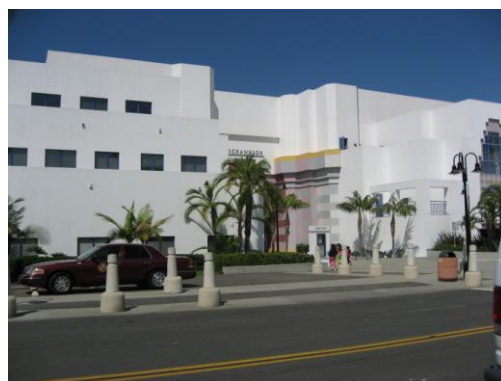
事業評価の結果については、11 月 12 日から 6 回にわたり行われた「富士市議会 議会報告会」の中で報告されています。

「評価 1 拡充する」としたものは、「自主防災組織育成事業」のみであり、自主防災の運営や資機材の整備、また防災指導員の組織整備の必要性からの判断です。

また、逆に「評価 4 廃止も視野に検討する」との厳しい評価となったものは、「オーシャンサイド市友好交流事業」、「新交通システム推進事業」、「放課後子ども教室推進事業」の 3 事業となりました。

【事業評価結果】

評価対象となった事業	議会の評価	
市長表彰事業	2	継続する
オーシャンサイド市友好交流事業	4	見直しの上縮小
放課後児童クラブ運営管理事業	2	継続する
富士山麓ブナ林創造事業	2	継続する
労働啓発事業	3	改善・効率化し継続
富士山百景推進事業	3	改善・効率化し継続
新交通システム推進事業	4	見直しの上縮小
自主防災組織育成事業	1	拡充する
放課後子ども教室推進事業	4	見直しの上縮小
第二東名 IC 周辺地区土地区画整理事業	2	継続する
簡易水道統合整備事業	2	継続する



来年度予定されていたオーシャンサイド市への議員派遣は、事業評価の中で中止となりました。

議 会改革の目玉でもあり、「見える議会」を推進する「議会報告会」ですが、参加者は昨年から大きく下回り、如何に多くの皆様に足を運んで頂けるかが課題です。

歩みは遅いのですが、議会改革は前進はしています。今年 9 月の地方自治法の改正により議会の招集や会期、議会と首長との関係も前進を始めます。

ホームページを開設しました。ぜひご覧下さい。 太田やすひこホームページ アドレス <http://web.thn.jp/ootayasuhiko/>

発行：太田やすひこ後援会
会長 諸星 秀一

住所：富士市錦町 1 丁目 9 番 5 号
(TEL) 0545-53-2148

富士市議会議員
所属委員会

太田康彦

環境経済委員会 委員

ごみ処理施設建設特別委員会

議会改革検討委員会

委員長
委員